

令和元年度大岡小学校 3年3組 クラスの学びを発信します！

つくろう オンリーワンの こぎん刺し

「まちに合うようなものを、みんなで協力してつくりたい。」そんな思いを強くもった子どもたち。教室に貼ってあったこぎん刺しの作品を見て、「自分たちでやってみよう。」という思いから、こぎん刺しを体験してみることになりました。実際にやってみると、針をうまく使えなかったり、糸が絡まったりして、なかなか思うように模様ができません。しかし子どもたちは、「難しいからこそできるようになりたい。」「色々な模様があって楽しいから続けたい。」と、こぎん刺しをやってみようという気持ちが高まり、活動がスタートしました。

針と糸を使いこなすのは難しかったため、まずは鉢底ネットと毛糸で模様をつくることになりました。互いに作ったこぎん刺しを見せ合うと、「横に刺す」「同じ段に刺す」「マスをよく数える」とダイヤの形が整った模様になることに気がきました。



慣れてきたころに布と糸でやり始めると、最初に刺したときよりもはるかにきれいな模様が出来上がりました。そして、たくさんある模様の中からやりたい模様を見つけ、作り続けていくと、裏まできれいな模様にすることが大切なのではないかと気づき、今では裏も模様に見えるように仕上げることを意識して、それぞれに色や模様を工夫しながら自分だけのこぎん刺しを作っています。

また、「お母さんが夜にお酒を飲むときにコースターを使っているから、自分で作ってあげたい。」「幼稚園のときの友達に、思い出に残るように好きなピンク色で模様を刺してあげよう。」など、家族や友達などお世話になっている人にプレゼントしたいという子どもも多く出てきました。

さらに、これだけ夢中になってできるこぎん刺しをたくさんの人に知ってほしい、という思いから、今後はこぎん刺しをPRする活動へと広がっていきます。

